

会 議 録

| | | | |
|--------------------|-----|---|------------|
| 会議名 (付属機関等名) | | 第4回川西市中学校給食検討会議 | |
| 事務局(担当課) | | 教育振興部学校教育室学務課 | |
| 開催日時 | | 平成26年2月13日(木) 午後2時00分～ | |
| 開催場所 | | 市役所4階 庁議室 | |
| 出席者 | 委員 | 濱田啓一、藤原政嘉、山上威、 柏直行、田口進、田中淑子、吉田修司、 中井成郷、中西真紀 | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 泉教育振興部長、森下総務調整室長、上中学校教育室長、 中西学務課長、上原学務課長補佐、大坪学務課副主幹、 馬場主任 | |
| 傍聴の可否 | | 可 | 傍聴者数 8人 |
| 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | | 議事 (1) 各校の状況に応じた調理方式検討について (2) 中学校現場における課題について (3) その他 | |
| 会議結果 | | 審議経過のとおり | |

審 議 経 過

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>開会</p> <p>ただ今から第4回川西市中学校給食検討会議を開会いたします。本日、芝原委員が所用で欠席とのご連絡をいただいております。(資料確認等)</p> |
| 座長 | <p>議事</p> <p>皆さんこんにちは。第4回目の給食検討会議になりました。お忙しいところ、出席していただきありがとうございます。それでは議題に入りたいと思います。まずは議題(1)「各校の状況に応じた調理方式検討について」でございますが、前回は調理方式の可能性について、議論していただきました。自校方式では、全7校中6校中で調理スペースがなんとか確保できそうだということ。また、中学校間で配送を行う兄弟方式や小学校と連携を行う親子方式についても、隣接校を中心に可能性があるということでした。いずれの方式にしましても、一定の整備が必要で、そのコストが示され、協議を行っていただいたところです。今回は、運営に関する費用が出ていますので、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>～説明～</p> <p>資料1～3</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございました。非常に綿密な基礎資料を元に計算されていると思います。今回、運営費用に関するデータが示されましたが、前回の整備コストも含めて協議を進めていただきたいと考えていますので、意見・質問等ございましたらお願いいたします。</p> |
| 委員 | <p>運営経費は年額ですか。</p> |
| 事務局 | <p>はい。</p> |
| 委員 | <p>設備費は別ですか。</p> |
| 事務局 | <p>初年度の金額です。</p> |
| 委員 | <p>設備費あるいは施設費は原価償却が含まれていますか。</p> |
| 事務局 | <p>含まれていません。</p> |
| 座長 | <p>いろいろな方式によって、要員の配置や光熱費の費用にそれぞれの特徴がありますね。特に栄養教諭の配置については大きな差が出ています。法的なことからこのようになっています。</p> |
| 委員 | <p>委託の方が安いのですが、なぜそんなに違うのか。質が落ちなければいいのですが。現状で行っているミルク給食の年間の経費がわかれば総額で教えてください。</p> |
| 事務局 | <p>委託の場合が少し安くなっている点につきましては、例えば、今小学校で行なっている丁寧な調理など、どのような内容で委託をするかによって不確定要素があるので、必ずしもこの金額でできるわけではありません。中学校ミルク給食の24年度の決算額は1,584,700円です。</p> |
| 委員 | <p>4337名でですか。</p> |
| 事務局 | <p>はい。中学校のミルク給食の主な内訳は、備品等の修繕更新代と2時間程度の臨時職員の傭人料です。</p> |
| 委員 | <p>ミルク自体の金額は入っていないのですか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 給食につきましては 運営費は市が負担して保護者は食材費のみとなりますので、市が負担しているのは運営費のみとなります。 |
| 座長 | 他にご意見はありませんか。 |
| 委員 | 中学校給食での表なのでこのような数字になるのかと思いました。私の立場から言いますと、親子方式の場合は中学校に栄養士は配置されませんが、小学校では喫食数が増えるので、栄養士の配置が増えるという可能性はありますか。中学校は調理をしないので、栄養士の配置は増えませんが、喫食数は4337人増えるわけですから、現在小学校で栄養士が配置されていない小学校でも調理食数は550人を超える増える学校がでてくるので。 |
| 事務局 | 栄養士の配置は、喫食数ではなく、児童生徒数になります。ただ、中学校の給食を小学校で作るとしても、小学校の児童数と中学校の生徒数を合算できるかどうかは確認が必要です。 |
| 委員 | 全中学校を親子方式にするのではなく一部の中学校のみ親子方式にした場合は、中学校での栄養士の配置はどうなりますか。 |
| 事務局 | 自校方式の場合には、栄養士が何名か配置されます。 |
| 座長 | 詳しい話になっていますが、最終的にそれぞれの調理現場で何食作っているかによって、栄養教諭の配置数が変わってくるということでしょうか。 |
| 事務局 | 一度確認をさせていただきます。ただし、教員配置の基本は学校なので、小学校が中学校の分の給食を作ったとして、果たしてその小学校に栄養士が配置となるのかどうか。一度確認する必要があると思います。そこまで寛大な人員配置をするとは少し考えにくい部分もありますので。 |
| 座長 | 予算の関係も含めて、事務局でお話ししていただくことになると思います。他に意見がある方はいらっしゃいますか。 |
| 委員 | 自校調理方式の予算であがっている数字は、多田中学校でも自校調理方式の金額であがっていますが、多田中学ではこの前の会議であったように自校方式はできないので、この数字になるということはないですね。 |
| 事務局 | おっしゃる通りでございます。多田中学校の自校方式は困難ですが、この表では多田中学校を含め組合せを考慮しないで、自校で実施した場合の表です |
| 委員 | 前回、小学校の給食調理システムが、確か1校を除いてウエットシステムで行っているというお話がありましたが、親子方式になると全ての調理システムがドライシステムに変わるというのは、小学校の給食システムがドライシステムに変わると考えていいですか。 |
| 事務局 | 現在16校のうちドライシステムを採用しているのは3校でございます。今回、中学校給食を実施するために、小学校の調理室を改築するとなりますとドライシステムしかないと思っていますので、小学校にあげております費用はドライシステム化したものです。 |
| 座長 | ウエットシステムとドライシステムの違いの説明はよろしいですか。 |
| 事務局 | 簡単に説明しますと、ウエットシステムは調理作業場の床を水で流す作業があります。ドライシステムは、家庭の台所と同じように、調理した後に床を水で流すという作業は伴いません。ドライシステムにおける効果は、衛生管理上では、床に水を流すことによる湿度の上昇で菌の繁殖が増えることもありません。また、エアーコンディショナーを設置し室 |

| | |
|------------|--|
| 座長 | <p>内の作業環境や食品衛生上の環境も向上させています。親子方式で中学校給食の調理を小学校で行う場合、ウエットシステムの学校は、このままの状態ではなく、扱う食材や従事員の方も増えるので、ドライシステム化を図ることによって食品衛生の向上も図らなければならないという考えに至っています。</p> <p>付け加えるとしたら、食品衛生上も非常に大事ですが、もう一つは従業員の健康管理上でもドライシステムは非常に優れています。例えば、ウエットシステムの場合、調理員は長靴の調理靴を履いていますが、水虫等の発症等も防ぐことができます。それだけではなく、腰痛やひざの傷みを含め労働災害が少なくなります。床も水ですべらないので労働安全上でもドライシステムの方が優れています。</p> |
| 委員 | <p>例えば、多田中学校が自校方式をできない場合、明峰中学校でという話がありますが、そうすると明峰中学校のシステム等の建築費は、当然多田中学校の分も作らないといけないので、自校調理方式の方が費用は上がりますよね。その額の試算は出ていないのでしょうか。もしくは、その額で2校分作れるのでしょうか。</p> |
| 事務局 事務局 | <p>そこまで個別の額としては、まだあげていません。</p> <p>我々としては、自校方式を採用し実施をするとなると、なにかしら工夫をしながら自校方式を前提に考えていくのが第一です。そのうえで建築上や予算、または大きく学校の現状を変えなければならない、子供たちの生活に大きな支障が出るとなれば、次の段階を考えるとというふうに進んでいかなければならないと考えています。ですので、7中学校が自校方式を行った場合どれくらいの予算がかかるか、あるいは兄弟、親子とどのようになるか試算をしています。これはあくまでも試算ですので、実際建築をする場合の形状、例えば前回話しましたが、川西中学校で自校方式を行う場合は、非常に大がかりの土壌工事も含まれてきます。このようなことになると、大きく単価もかわってきます。ですから、そこまでの細かいものではなく、概略として見てほしい。自校方式を行えば、初年度20億が必要というふうに見ていただければありがたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>そんなにいっぺんに20億だせるとは思えない。この前、耐震工事で8億7800万円という額が出ていましたが。</p> |
| 委員 | <p>調理員の人数は親子方式・兄弟方式・自校方式とざっと計算した数字ですよ。中学校給食をやるとなると、これだけの人数が必要になりますよということで、実際は親子方式になれば現行からプラス25人ということではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>現行からプラス25人です。25人の内訳は、調理数が増えるので、調理員自体が増え、配送に関する人員が結構多いです。</p> |
| 座長 | <p>他にご意見ある方はいらっしゃいませんか。中学校給食については、他市でも検討が進んでいます。第2回目の会議の際に、近隣市の実施状況に関する資料の提示がありました。他市が方式を決定した理由を、事務局で調べていただきましたので、参考に報告いただけますでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>～説明～</p> <p>【箕面市（自校調理方式）】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 食べる直前まで調理でき、適温でおいしく食べることができる。 * 食物アレルギー対応に最も優れている。 |

| | |
|-----|--|
| | <p>* 各校に調理室があることで、食育の生きた教材として活用できる。</p> <p>【芦屋市（自校調理方式）】</p> <p>* 小学校で実施している、自校調理方式の手作りで質の高い給食を引き継ぐ。</p> <p>【伊丹市（センター方式）】</p> <p>* 食物アレルギー対応専用調理室ができ、高い安全性が期待できる。</p> <p>* 調理業務の分業による集中的な衛生管理の徹底で、安全・安心な給食提供ができる。</p> <p>* 早期に全中学校で一斉に実施できる。</p> <p>【神戸市（ランチボックスによるデリバリー方式／民間）】</p> <p>* 早期実施が可能である。</p> <p>* 学校生活への影響が少ない。（食缶からの配膳作業がない）。</p> <p>* 民間事業者が活用できる。</p> <p>【高槻市（親子調理方式）】</p> <p>* 小学校で実施しているあたたかくバラエティに富む献立等のノウハウが活用できる。</p> <p>* 低コストで実施できる。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。近隣の市では自校方式・親子方式・センター方式・デリバリー方式等、それぞれの特徴がございます。各委員の皆様には5市の方法につきまして、ご意見・質問等はありませんでしょうか。私から良いのでしょうか。川西市の4300食と相当する市はどの市でしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>規模でいいますと、箕面市が生徒数で言うと一番近いと思います。</p> |
| 座長 | <p>そこは自校方式ということですね。</p> |
| 委員 | <p>高槻市は親子調理方式を低コストで実施できたということですが、自校方式と比べてという事でしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>整備費のコストが安いということです。</p> |
| 委員 | <p>初年度はコストが安くなるが、毎年の運搬費を含めるとどうでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>高槻市さんが、どこまでのコストを含めての表現なのかは量ることはできませんが、基本的には初期投資が少ないというのが、非常に大きなことなのではないでしょうか。それと、小学校の人数と中学校の人数の兼ね合いの中で、大きく調理スペースを広げる必要がないというのも、含まれていると思います。川西市と比較するというのは、若干このあたりは難しいと感じます。今の各市ともに、先ほどの発言でもありましたが、現状として単年度で大きな金額が出ていくというのは、非常にしんどいというのは、どこの市にとっても同じなのかと思います。ただ、親子方式を行うと当然ながら毎年の配送経費が必要になってきます。従いまして、自校方式で行っていくよりも、配送を含めた経費としては、単年度見ますと少し高くなってくると考えられます。</p> |
| 委員 | <p>資料2で提示していただいている運営経費ですが、自校調理方式の直営の初年度の運営経費と親子方式の運営経費を比べると、自校方式の方が経費はかかっていますが、初年度以外もそうなるのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>何年目かで逆転することはございません。</p> |
| 委員 | <p>ということは、ずっと親子方式の方が経費はかからないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>基本的に、親子方式の場合は既にかかっている光熱費にプラス ということになります。</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>それに対して、自校方式は、今までかかっていなかった光熱費がでできます。それと、人数的には少ないですが、若干の人件費も増えます。ということで、親子方式の方が経費は少なくなっています。</p> |
| 委員 | <p>米飯の時にも出ましたが、配送経費を委託ではなく自分たちで行うと、低コストにはなりますか。</p> |
| 事務局 | <p>確かに調理師が配送する方法もありますが、この人数では足りなくなり、民間に委託した方が費用的に安く済みます。</p> |
| 座長 | <p>親子方式でも、人件費や光熱費や管理費はでできますよね。</p> |
| 事務局 | <p>はい。配送費について補足させていただきますと、445万2千円というのは、大きなものとしまして、人件費やトラック、コンテナも含めた金額になります。</p> |
| 委員 | <p>小学校では老朽化が激しくて、給食室をかえなければならないとがあります。そこは中学校に給食室を作ってしまったって小学校に配送するというのは、どうでしょうか。</p> |
| 座長 | <p>新たな発想がでましたね。</p> |
| 事務局 | <p>今のお考えですが、我々も中学校で給食をやるならば、給食室の老朽化が進む小学校は、中学校に給食室を作り、小学校に配送するという方法も内部では検討しています。親子方式の組み合わせは、給食を行うと決まった時に、経費やその他を含めベストカップルを検討していただきたいと思います。また、前回もお話しさせていただきましたが、中学校の敷地は、現状では給食調理室を建設するという前提で配置されていないので、なかなか難しいです。果たして中学校の調理室で小学校の分も作れるかというのは、もう少し詳細に検討してみないとわかりません。</p> |
| 委員 | <p>前回から、兄弟方式と親子方式がでていますが、どちらか作って、どちらかに配送するというのは同じですが、他にどう違うのかとじっくり考えてみますと、給食内容に違いが出てくると思います。もちろん、今小学校で行なわれている給食メニューが、中学校3年生は食べられないということもないですし、大人の方でも、誰が食べても十分対応できるものです。ただ、小学校1年生が食べる給食と、中学校3年生が食べる給食が、全く同じメニューというのは、それぞれの体の大きさや成長期に合わせ食べ方が、親子方式では献立に無理が出てくるのではないのでしょうか。できれば、兄弟方式の方が。また、どこかが親子方式になってしまうと、川西の場合は統一献立でやっているの、小学校と中学校が全部同じメニューになってしまいます。ですから、兄弟方式の方が小学校のメニュー・中学校のメニューとして考えられるので、給食内容を考えた場合、より中学生に必要な給食が作れると思います。</p> |
| 座長 | <p>高槻市は親子方式を実施されていますが、このような問題点をどのように解決されているか調査していただければありがたいかなと思います。</p> |
| 委員 | <p>伊丹市のセンター方式というのは、中学校専用のセンターができて、小学校は作らないという事でしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>そうです。小学校はセンターで運営されていまして、今度は中学校分のセンターを設置します。</p> |
| 委員 | <p>献立はどうなっていますか。そのあたりを聞いてほしいです。猪名川町は同じメニューだと思います。小学校と中学校が同じメニューというのは私も好ましくないと思います。</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | 同じメニューでも組み合わせが違うとか、ただ量が違えばいいという問題ではないので、同じ日があっても良いですが、常に一緒というのはどうなのかなと思います。 |
| 座長 | 具体的な話になりますと、非常に細かい話になると思います。特に専門家の現場の先生は献立に関して気になる点ですので、そのようなところを調査していただければありがたいなと思います。 |
| 委員 | 学校における栄養教諭の役割というのを、普段どのように食育をしているのか教えてください。 |
| 委員 | 食育として何かをするということもありますが、献立の立案そのものが、食育であると考えています。1日1日の献立を通して子どもたちに何を学び取ってもらうかと考えて立案しています。それは季節の移り変わりや人と食べ物のつながり、教科の中でのつながり、地域と給食のつながりです。例えば、11月～12月にかけて、大豆製品をたくさん使った献立を取り入れているのは、3年生に姿を変える大豆という教材があるので、その時に合わせてより大豆製品が給食でPR出来る形で立案します。その時に合わせて授業で豆腐作りをする学校もあります。栄養士が子ども達の前で直接クラスに出向いて、食育の授業をしたり、学校で何かをしたりもしますが、基本は日々の献立の中で毎日何を伝えていくかをメインに考えています。 |
| 委員 | 先ほど、栄養教諭の配置について話がありましたが、本来は食育を中学校でという形になってくると、親子方式だから中学校には栄養教諭の配置がないということになると、子ども達に伝えていくには、現場に栄養教諭がいた方が良いですか。 |
| 委員 | 給食を食べている生徒を見ていて、その場にいるからこそできる食育もあります。それと、栄養教諭は食育だけが仕事ではなく、給食が安全に作れるというのが一番の仕事です。安全安心な給食があつてのはじめての食育だと思いますので、日々の給食室での業務プラス、クラスや学校を通し地域の方との食育という業務内容になってきます。試食会でお話しすることはできますが、話を聞いている保護者の方の子どもの実情をあまり知らない場所で話すのと、自校方式で何が好きで、嫌いで、どのような献立だと残食が出るか把握している場所で話をするのでは、内容的にも違いますし、日々のつながりの中で、この子はこれが食べられるようになったとか、その子のかかえているものは何なのかというのも分かったうえで、つながりを持っていくのとは全然違うと思います。 |
| 座長 | ありがとうございます。昔の学校栄養職員から、栄養教諭にシフトしまして、やはり業務も複雑化高等化してきたかなと思っています。 |
| 委員 | 設備の費用等だけではなく、栄養教諭のことも重要なのかなと思います。 |
| 座長 | では、以上で議題(1)を終了します。それでは、次の議題内容(2)の「中学校現場における課題について」でございます。これまでの議題の中でも、例えば小学校と連携した導入の準備や、時間の制約などについて、意見をいただけてきました。実施に向けて、ある程度方向性が見えてきましたので、中学校給食を実施するという前提で、もう少し踏み込んで「課題」に対してご意見をいただきたいと思います。はじめに、事務局から意見を聞きたいという項目を一つ聞いております。アンケート調査では、保護者の方は9割が「給食賛成」で、一方子どもたちは、少し割合が下がり約半数が給食を望んでいるという結果でした。子どもたちの半数が「お弁当」を支持する中で、この子どもたちの意見をど |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>う受け止めて、給食実施を進めるのか、という点でご意見をいただければと考えています。子どもが弁当の方が良いというのは、一言で言えば好きな物が入っているからだと思います。私たちも作っている側からしたら残されるのが嫌なので、栄養に良いから入れようというより、ちゃんときれいに食べたお弁当箱を持って帰ってこれるようにしています。イコール子どもの好きな物ばかりみたい。一方で、親として健康のために入れたいものもあるが、子どもが食べないと入れないので、給食にしていただけるとみんなと一緒に同じものを残さずに食べれたり、栄養教諭の方たちが考えてくれたメニューで体にいいものを取り込めるのかなと思います。これは子どもも同じだと思いますが、冷たいんですねお弁当が。親としては温かいものを食べてほしいという希望があります。</p> |
| 座長 | <p>まずは教育からとしても給食の方が良いという意見ですね。</p> |
| 委員 | <p>なかなか甘いですから親は。おいしいと食べてくれるものしか与えない傾向があるのかなというのもあると思います。</p> |
| 委員 | <p>子どもの好きな物が入っているお母さんのお弁当に、親しんできた子たちのデータですよ。小学校のデータはまた違うと思いますが、小学校の場合は給食が実施されていて子ども達は給食が非常においしいと言っている。その子たちが中学校にあがるわけですから、中学校給食が親は望んでいるが子供は望んでいないというデータとしてとらえなくてもいいと思います。</p> |
| 座長 | <p>現場から見てどうですか。</p> |
| 委員 | <p>この前も話していましたが、小学校もお弁当派が多いですね。給食を食べている子でも、お弁当は多い。</p> |
| 座長 | <p>やはり、お弁当を持ってこれない子どもはどうするかが重要だと思います。例えばお金を渡しといて好きな物を買わせたり、お弁当でも好きものばかり入れてしまったり、子どもの栄養バランスに問題点があると思いますが、どうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>食育という観点からだと、確かにお弁当にしていると、よく噂で入ってくるのは、弁当を持ってきている子に部活とかでよく運動する子が、その子のお弁当を取り上げて、持ってきた子は食べられなくて、取り上げた子がお昼までに食べてしまったりするということが多いという話を時々聞くので、こういうのはお弁当だと起きやすいのかなと思います。自分の体験から言うと、中学生になった時に子どもがお弁当を嫌がる理由というのは、給食はみんなでそろって食べてごちそうさまするので、時間の差が激しくなってきます。時間を有効活用したいと考える子も増えてくると思いますし、例えば部活をしている子はお昼休みも練習したいとか、給食にすることによって時間を使えなくなるのが嫌だというのが一番大きいのではないかと思います。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。いろいろな視点から課題がでましたが、各委員から何か課題について意見はございませんか。</p> |
| 委員 | <p>3回目なので繰り返しになるかと思いますが、保護者と子どもにアンケートをしましたが、現場としてはやるやらないに関わらず、今のこの段階ではやるという方向ですので、給食をやるとなったら、どのような問題が起こってくるか、事務局や私たちも教職員に目を向けるべきではないかなと思います。それは、やめる理由もやめて欲しい理由もあると思います。現場の先生方も個々の力量もありますし、はじめてのことです。他市の情報は、</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>以前見させていただいた中学校ばかりではなく、私自身が直接聞いているわけではないですが、大変混乱している学校もあります。給食室から教室に運ぶまでに、から揚げがなくなるとか、これは学校によって違い、それを指導する先生方も大変です。大変だから給食をやめるという事ではなく、このようなことは学校の特性です。ただ、このようなことも踏まえて、最初に戻ると、アレルギー食は小学校からの引き継ぎを確実にしなければいけない時代です。これが一点。あとは、給食の後片付けです。お弁当の時も部活は昼休みにはしません。また、早弁も今はほとんどありません。今までは、図書室に行ったり、子ども達のほっとする時間がありましたが、給食では時間がなくなってしまおうし、先生方の負担もあります。先ほども言いましたが、個々の力量によってお皿が飛ぶようになってはいけなしいし、話が前後しますが、自校方式が一番いいですが、給食メニューを考えると兄弟方式というのもあります。先生方に興味があって議事録等を見ている方もいるかもしれませんが、多くの先生方は毎日の業務の中であまり関心がないと思いますので、今はアレルギーの問題や食事の片付けの流れの問題、給食費の未納の問題を、そういう方法があったらやろうじゃないかという先生たちが腰をあげれるような、私は中学校の代表としては困難を想定して対策して欲しいです。事務局もよくお考えで、よくお話ししてくれるのでありがたいですが、いざやるとなると、自校方式ができない学校があるという現実はどうしようもないことです。柔軟性を持って兄弟方式をしても、一つ間違えると、建てた後のランニングコストがばかにならなくて、財政も心配です。上手にお金の面で組めたらいいですが、そこら辺のミスや無駄使いがないように、私たちがチェックをし、事務局も作ったから終わりではなく、作ってからが始まり。それから先生も親も子供も関心が高いと思う。他市は他市として参考にするのは良いですが、参考にして川西市ではどのようにすればよいか。じっくり考える必要があると思います。一番は私としては、もし考えがあれば、事務局の方に教職員の意見も聞いていただければいいなという思いがあります。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。切実な話というか、現場の話をしていただきました。やはり、先生方のアンケートも場合によったら必要な時期になっているのではないかという意見がでました。今後の問題としては、アレルギーに関して小学校からの引き継ぎをどのように徹底していくのか、あるいは給食の順位の後片付けの時間、あるいは給食費の未納の問題を実施前にどのような対策を取るか。その後の運営についても考えた実施が必要なのではないかという意見でした。</p> |
| 委員 | <p>抽象的な話になりますが、小学校の給食を見ていまして、自校方式の質の高い給食や食育という部分でも活用されやすいこと、アレルギー対応もメリットが非常に高いと思います。そのメリットが中学校にも広がっていけばいいなと思います。中学校で給食をする時の課題は運営もですが、時間という気がします。どのように給食の時間を設定するか、また中学校の場合は教科担任制になってくるので、そのあたりも小学校と違うので考えたいです。</p> |
| 委員 | <p>小学生が弁当にあこがれる気持ちも分かります。ただ、中学生で満足できる弁当を食べている子が何人いるかなんです。また、先ほどアレルギーの心配を中学の先生が話されていましたが、お弁当はどのように管理しているのでしょうか。他の人の弁当を食べないように指導するとか、そういうことをしないと弁当というのは逆に怖いすよね。給食では、</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>みんなでわかってやっていくので、安心できる問題だと思います。その辺は中学ではどのようにアレルギーの子に気を遣っているのかというのは失礼な言い方ですが、満足できるお弁当を持ってきているのか。それと、弁当持ってきている子は、どれくらい満足できる弁当を持ってきているのか。満足できる弁当を持ってきていないから、給食という話がでていると思います。</p> |
| 委員 | <p>子どもがお弁当を渡したりしているかはわかりませんが、アレルギーがでたり、アナフィラキシーショックがでたという話は聞いておりません。</p> |
| 委員 | <p>アレルギー児がいることを知らないということですか。</p> |
| 委員 | <p>それは知っています。</p> |
| 委員 | <p>教員たちは、どういう注意を払って、弁当を管理していますか。</p> |
| 委員 | <p>お弁当の管理はありません。宿泊訓練や修学旅行の食事場合は旅館の業者さんや調理員と連絡を密に取り合って、一人ひとりの食物アレルギー、例えば、えび・いか・卵・チョコ・牛乳等の細かいことを先方と連絡を取り合って、食器の色や食材を替えて食べているのが現状です。</p> |
| 委員 | <p>P T Aの方に聞きたいのですが、一斉にしないといけないものですか。学校別で早期にできる学校を選んだりすると良くないですか。</p> |
| 委員 | <p>前提がどうなのかですね。どこかの学校でテストしていくと思いますが、一斉にやらしてもらえらば、越したことはないです。あの学校は始まっているのに、うちはないとかは絶対出てくるので。でも、前提があれば大丈夫です。</p> |
| 委員 | <p>先生方のお立場からは、とても苦しいという意見がありましたが、現状がお弁当なので、そんなに先生が苦しまれるのなら、どうしてもというわけではないのですが、全国的に給食が行われている中学校の実例があるのというのは、休み時間や先生の対応ができてることだと思いますし、最初に戸惑うのは先生も子ども一緒に、言ったら中学校は3年間しかないで、3年間の子どもが最初にあたるだけで、あとは流れていくのかなと思います。一斉にするかしないかというのは、モデルケースとしてやってみてどうかというお試しもありだと思います。良くなかった場合はその都度方式を変えていったり。一斉にやってしまうと後戻りも出来ませんし。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。いろいろな心配がありますが、実際に運営する時には予算の組み立て方からこのような話も出てくるかだと思います。</p> |
| 委員 | <p>口幅ったい言い方をしてしまい、ご心配をおかけしてしまいました。小学校や中学校、川西市の先生は給食が予算もついてやり方が決まったら、個々の力量関係なく、フォローし合いながら、子どもの食育について全力で取り組みます。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。他に議論したいことはありませんか。</p> |
| 委員 | <p>先ほどの近隣5市の中で、すでに実施されているところはありますか。箕面は実施されていますか。</p> |
| 事務局 | <p>箕面は実施されています。</p> |
| 委員 | <p>今までやってなくて今回はじめてで、効果や学校現場がこうなったとかはありますか。</p> |
| 事務局 | <p>箕面市は25年9月から一部の学校で給食がはじまっています。あとの4市は今後。まだ、始まった直後の状況や効果は把握していません。また、情報を集めてどういう課題があっ</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>て、どういう対応をしていかなければならないのか、考えていきたいと思います。</p> <p>止々呂美については、小中同じ敷地であって、条件が整っていると思います。食育に関しては、保護者も理解があって良い結果がでてっていると聞いています。そういったレポートがあれば、地方自治体によっては中学校給食をはじめたことで、非常に非行が少なくなったとか本に出したりしていますが、そういう展開になっていくのが理想なので、効果の部分に対して、こういったことが想定されますよ、このようなことが目的で教育委員会として取り組んでいきますよ。という初心を大切にしていきたいなと思います。</p> |
| 座長 | <p>では、中学校給食をはじめると、実際に小学校の給食現場からは、どのような課題がでてくると考えられますか。</p> |
| 委員 | <p>前は全国的な交流や阪神間での交流で、中学校給食の方が残食が多いとか、嫌いなメニューの時にチョコが入っていて食べられなくなったとか聞いていたので、そこは心配です。今回のアンケートでは、子どものお弁当希望が50%で給食希望が50%でした。4年前のアンケートでは30%が、給食が良いと言っていました。給食希望が半分にあがったというのは、作っている側からしたら、とても嬉しいかなと思います。それは米飯が始まって、自校調理にして子どもに温かい給食を提供できるようになって、昔のイメージの冷たいパンから温かい給食になって、保護者の90%というのはわかりますが、子どもが50%にあがったというのは、4年前のアンケートと比べてうれしい。ここでは、少ないとなっているが現場としては嬉しい。</p> |
| 委員 | <p>多分、給食をするのが困難な状況の学校であれば、お弁当の時間も大変ではないかと思います。ずっと給食をされていても、給食内容を変えたことで、子ども達が変わったということもあります。ただ、私が思うのは食育とは与えられたものを残さず食べることが食育なのではなく、将来、自分が食べてきたものが作れるというのが本当の食育なのではないかと思います。生涯に渡って活用できる食育。小学校で給食を食べ、中学校でも給食を食べて、「自分たちが食べるもの」として食べることができ、「自分で再現できること」ができる給食をしていくことで、おそらく川西市は健康な人が増え、給食として予算は使うが、市の全体の予算として見た時に、他の部分で使わないといけなかった予算が給食の効果で、少なくなるのではないのでしょうか。箕面が中学校給食を地産地消で行っていますが、川西市も前々回資料が配られたかと思いますが、農地が全くないわけではなく、業者さんとかが地元の農地を開拓しているので、箕面と同じような方法で、川西市でも地産地消ができるのではないのでしょうか。それが川西市のオリジナルの給食として、給食だけではなく川西の中で、川西市の給食はこうなんだよ。と言われるような給食をこの場で検討できればいいなと思います。</p> |
| 座長 | <p>ありがとうございます。非常に壮大な考え方でした。川西市民の食育をどのようにあげるかという、大きな観点でお話しただけだと思います。余計なことを言いますが、行政という立場でございますので、それぞれの横つなぎで川西市民の生活の質をあげるという意味でも、給食をやっていたらなと思います。他にご意見ございますか。では、他にご意見がないようでしたら、以上で議題(2)を終了いたします。それでは、会議内容(3)の「その他」について、事務局よりお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>それでは、(3)「その他」でございます。今年度の中学校給食検討会議は、本会が最後で</p> |

| | |
|-----|--|
| 座長 | <p>ございます。26年度におきましても、引き続き協議をお願いしたいと考えており、これまでの協議をまとめた「意見書」の作成を予定しております。日程等については、後日、お知らせさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。次回日程につきましては、予算議会の関係もあり、後日になります。その他に、何かご意見ございますか。議題(1)(2)でご意見等言い足りないことはありませんか。</p> |
| 委員 | <p>前回、校長会の席で、学校設備面で、空調の設備を設置するという方向性の話を聞きましたが、中学校給食と空調というのはお金が非常にかかってくるのですが。私たちは同時に行ってくれるとありがたいです。どのようになっていくのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>大変苦慮している問題でございます。現在、来年再来年に耐震工事を行う学校につきましては、耐震工事をする部分につきましては、空調設備を導入するという形で耐震工事を実施します。これまでの耐震工事は1校1校、市が業者さんを入札して決めるという方法をしていますが、来年再来年と残された学校につきましては、2年間の事業を全てひとつの業者と契約をするPFI方式という新たな方式で行います。そうなりますと、これまでとはかく安いところで契約をしていましたが、今回はある一定の金額をこちらが想定をしながら、この範囲の中で、民間の業者さんのノウハウを生かして我々が得する提案をしてほしいという方式にしています。そういう中で、今回に契約にいたりました業者は、工事をする教室についてはすべて空調設備を入れる。それと、1校は地形的構造的にエレベーターを簡単に設置できるので一機設置したいという提案をしてくれています。ガラスについては、遮光性のガラスや熱を遮断するガラスに変えるとか、その他にもいろいろな提案をしてくれています。このような形で、航空機の騒音があった南部の小学校と中学校では空調設備が入っています。今回の耐震工事の対象になった学校の一部に空調設備が入ります。そうなりますと、空調設備が全くない学校や、教室によって空調設備が入っていない学校がでてきます。これについては、平等性ということで、やはり一定の足並みをそろえるように動かざるを得ないだろうなと思います。従いまして27年度まで耐震工事が行われて、その後の課題は空調設備になって来るかなと思っています。ただ、あくまでも政策決定という問題がありますので、我々の方針が市の方針になるかは別問題。ただ、こうなりますと中学校給食の開始が非常に遅くなります。だったら、すでに空調が入っている学校は前倒しできないのだろうか、パイロット的にどこかの学校でスタートすることはできないか等、これからの課題として当然検討をしていかなければならないと考えています。我々、この会議をするときに危惧していることは、例えば神戸市の例を取り上げると、学校数が多く給食を行うとなると初期投資で膨大な経費が必要になってきます。そういう中で、給食を早期に求める声と、お弁当がやはり良いという声を勘案していくと、落ち着くところは、ランチボックス方式のデリバリーにおさまりました。諸般の事情のバランス取って一定の方式を決めるというのも一つだと思います。ただ、川西市として給食をどうとらえて、どういうふうに進めていくのか観点を決めた時に、少々お金はかかるけど、こういう形。あるいは少々難儀だが、子ども達のために最善の利益、政策判断を考えてこういう形にするかを、我々で考えさせていただいて、その上で市全体の予算含めた運営方法を検討していただき、議会でご審議していただきます。当然ながら公費を使うので、子ども</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | <p>とは縁のない市民の方々にも納得していただける形を検討していただくことも最終的にでてくるかなと思います。我々としては、できる限りより良い給食をやるとなると、どういう方法やタイムスケジュールになるかというのをここでのご意見を参考にしながら次の段階へ進みたいです。その具体的な作業が26年度4月以降での会での議題になって来るかなと思います。</p> <p>南の学校は飛行機の問題で、空調を設置した場合、光熱費は市が持っていていいと思いますが、それを全校に広めていくとなると、給食代や光熱費の問題もあるので、そのあたりもやはり考えていただくようお願いします。給食費や光熱費を払ってくださいと言うのは、なかなか難しい。</p> |
| 事務局 | <p>今のところ、空調が入った後のランニングコストをどのようにするかは白紙です。京都市は保護者からとっています。保護者負担の方が良いのか、教育という場である以上市がきちっと責任を持っていくのが良いのか。今後の課題になって来るかなと思います。</p> |
| 座長 | <p>実際に物事を進めようとしたら、さまざまな角度から問題点が出てくるかなと思います。今日はそれぞれの委員の皆様からいろいろ課題をいただきました。先ほど事務局からもありましたが、今年度の会議は今回で終わりです。各委員の皆さま、今年度の会議におきましては、活発なご意見をありがとうございました。来年度についても、引き続きよろしくお願いします。それでは、本日はこれもちまして、閉会といたします。ありがとうございました。</p> <p><u>閉会</u></p> |